

地域計画

地域行政の展開の実績に基づき、地域からの発想により、地域の特性・個性を踏まえて、その将来像を描き、地域における計画を明らかにします。

地域計画の作成にあたっては、5地域の総合支所を中心に、地域の特性と地区におけるまちづくり活動の目標を踏まえ、めざしていく将来像をまとめていきます。また、今後、分野別政策等と整合を図るとともに、策定中の各種個別計画・方針等との連携を図っていきます。

構成

1 地域の特性

地域の歴史的経緯と現状、地域の構造、土地利用、道路・交通、人口、区民活動などの要素を整理し、地域の特性を明らかにして、地域の主要な課題を記載します。

内容

- ・地域のなりたちと姿
(地域の位置、市街地の概況、歴史的遺産、交通機関の発展に伴う人口増、人口やみどりの状況等)
- ・暮らしの姿
(今後の人口推移、高齢化の状況、福祉の視点など、行政に求めているもの、防災、道路、みどりの取組み等)
- ・にぎわいと地域の活動
(商店街、事業所の状況や今後の動向、歴史的伝統の継承、イベント、住民活動の状況等)

2 めざしていく将来像(まちの将来像)

地域の特性や地区におけるまちづくり活動の目標を踏まえ、地域として、めざしていく将来像と取組みの方向を記載します。

3 地区におけるまちづくり活動の目標(地区ビジョン)

この間、各地区で、まちづくり活動をしている団体等の意見を伺いながら、今後10年間に地区として、めざしていくまちづくり活動の目標を議論し、積み上げてきました。この、地区におけるまちづくり活動の目標を記載します。